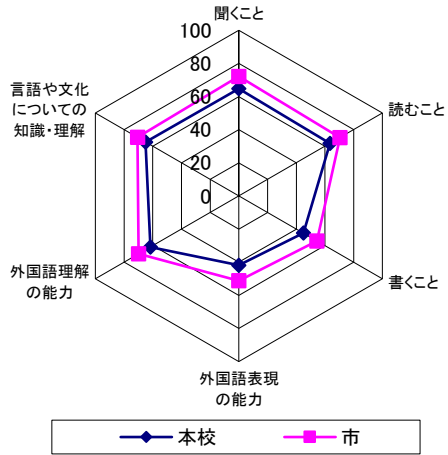


宇都宮市立鬼怒中学校 第3学年【英語】領域別／観点別正答率

★本年度の市と本校の状況

		本年度		
		本校	市	参考値
領域別	聞くこと	64.7	72.2	67.8
	読むこと	63.5	70.5	70.4
	書くこと	45.0	54.3	54.0
観点別	外国語表現の能力	41.8	51.2	49.2
	外国語理解の能力	61.7	69.8	65.8
	言語や文化についての知識・理解	65.1	70.7	74.0

※参考値は、他自治体において同じ設問による調査を実施した際の正答率。



★指導の工夫と改善

○良好な状況が見られるもの ●課題が見られるもの

領域	本年度の状況	今後の指導の重点
聞くこと	○大問番号3の問題で、絵を見て適切な順番を選ぶという問題がもっとも正答率が高い。他の問題も同様に絵を見て答える問題の正答率が比較的高いことが分かる。 ●正答率が低かった問題は大問4と5で、共通して一定の長さの英文を聞いた後に質問に答えるという問題で正しく内容を理解していないことが分かる。	・ALTとのteam teachingでは、JETとALTとの対話の中で英語を聞かせる機会を増やすことで、生徒の聞くことの能力の向上につなげる。 ・教科書や補助教材以外にも、リスニングの資料を準備し、生徒が英語を聞く時間をさらに増やすと共に、英文を聞いている間に、5W1Hを含むメモの取り方についての指導もしていく。
読むこと	○読むことの問題で、市の平均を上回ったのは現在完了形の動詞の過去分詞を正しく選ぶこと問題であることから、過去分詞形が比較的身につけていることが分かる。 ●正答率が低かった問題は大問8の(3)で内容と異なる英文を選ぶもので、英文の内容把握が正しく把握できていないことが分かる。	・語彙力をつけさせ、長文を読ませる時間をさらに確保し、限られた時間で英文の大意をつかませたり、ある程度の長さの英文を要約させることで、長文の理解力の向上につなげる。 ・1年生の時から、ある程度の長さの英文を読み内容を把握する機会を設定し、学年が上がるにつれて段階的に文章量を増やす工夫をする。
書くこと	○書くことの問題で、大問題9の(1)の正しい語順に並べ替える問題で、もっとも正答率が高かった。このことからmake O Cの文型の理解度が高いことが分かる。 ●正答率が低かった問題は、与えられた条件で一定の長さの英文を書く問題であり、表現に必要な語彙力や文型が正しく身に付いていないことが分かる。	・既習の文法事項を用いて英作文を書く時間をより多く確保することで、場面に応じた表現や語彙の選択がスムーズにできるようにする。 ・単元ごとに単語テストを実施するなどして、単語を正しく書く機会を増やし語彙力を増やす。